

お母さん大学主催 “森のお散歩「森を五感で楽しもう！」”活動報告

この活動は、お母さん大学が、福岡県水源の森基金「平成26年度緑の募金助成事業」に応募し、採択され、その運営を当会に委託されて実施されました。

その活動内容は、①7月-自然観察、昆虫採集を通じて生態系について学ぶ、竹のクラフト(水鉄砲等)を通じて竹について学び、活用方法を知る。②10月-ドングリや落葉を拾い、クラフト、木の実を食べてみることを通じて森の恵みを知る。③1月-野鳥や冬芽の観察を通じて森の役割を学ぶ。となっています。

さて、当日は天候にも恵まれて、おんぶされた子、手をつないだ子、網と籠をもって走ってくる子などそれぞれの若い家族が三三五五と集まってくる様子は、明るく賑やかでした。(参加/28家族 85人)



始まる前からテンションがアップして駐車場周りの樹木でセミを捕まえるなど元気いっぱい、何と羽化したばかりのセミまで見つけて、これには大人たちも興味津々でした。

大勢のそれも手に手に網と籠を持った子供たちに取り囲まれたのですから、セミもさぞヒヤヒヤしたことでしょう。

さて、開会式を済ませて、アイスブレイキングを兼ねた”バッタの追込み漁”をしましたが、これには子供も大人も大興奮で、一気に昆虫採集モード全開となっていて一日のスタートが切れました。

昆虫採集をしながらキャンプ場につくと、すぐに、竹を伐り樋を作る人、薪を集めて火起こしする人などに分かれて作業し、そうした下準備が大方出来たら、水鉄砲づくりです。

さっそく飛ばしたり水の掛け合いっこをしたり、静かな広場も子供たちの歓声でこだまします。

やがてお目当ての美味しいそうめんができて、青竹樋に並ぶ子供たちの笑顔がはじけて流れてくるそうめんにも舌鼓を打ちあっていました。やがてそれも一段落すると、また水遊びの時間となって、楽しい昼間の時間もあっという間に過ぎ去って、お別れの時には未だ名残惜しい子供さんの顔があちこちに見られました。

こうして一日が終了しましたが思うことは、こうしたイベントに参加する家庭に育てられるお子さんたちは実に幸せだなと思いました。



「百万母力」って新鮮な響きを持ちますが、そうだね、母って強いよね、何馬力あるんだろね。と思うけど、それは“ガタイ”が強いだけではない。しなやかな強さもあれば、タフな精神も備えている。人間は環境の動物と云われるけど、こうした環境が広まればいいなと思

った一日でした。

お母さん大学の事は <http://www.okaasan.net/> をご覧になってください。

文責 佐藤 政男